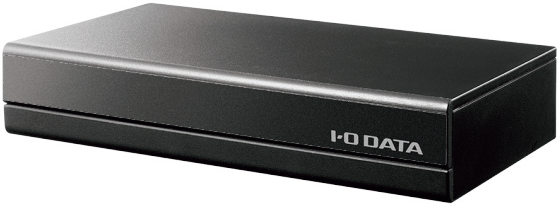
I-O DATA

使　用　ガ　イ　ド

SeeQVault 対応ポータブル SSD
SDP-SQ30H



●お買い上げ時のレシート・領収書は大切に保管してください。
ご購入年月日の証明になります。
詳しくは【ハードウェア保証規定】（33 ページ）をご覧ください。
●【安全のために】、【使用上のご注意】を必ずご確認ください。
（27 ～ 29 ページ）

B-MANU202532-01

もくじ

はじめに

添付品を確認する……3

本製品の使い方

録画番組をダビングする……5

専用アプリで再生する……22

仕様

動作環境……24

ハードウェア仕様……26

お守りください

安全のために……27

使用上のご注意……29

アフターサービス

お問い合わせについて……30

修理について……32

ハードウェア保証規定……33

はじめに

【重要】データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。
突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

●バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップをおこなってください。

添付品を確認する

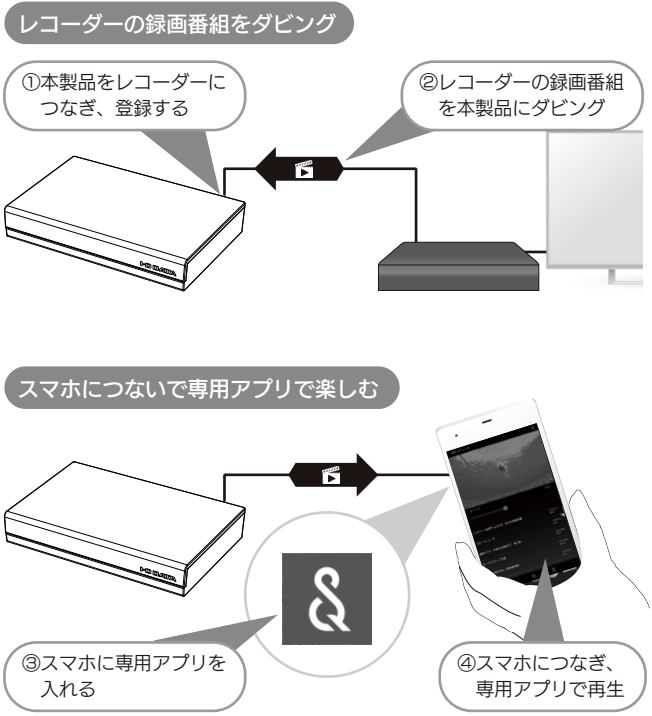
◆ Android 端末用ケーブル
☐ USB 2.0 microB-microB ケーブル（1 本）［約 100cm］
☐ USB 2.0 microB-Type-C ケーブル（1 本）［約 100cm］

◆家電接続用ケーブル
☐ USB 3.0 ケーブル（1 本）［約 80cm］

☑ 使用ガイド（本書）

本製品の使い方

SeeQVault（シーキューボルト）対応レコーダーに保存されている録画番組を本製品にダビングし、スマホにつないで見ることができます。



録画番組をダビングする

本製品をレコーダーにつなぐ

※対応機器は、【動作環境】（24 ページ）でご確認ください。

ご注意

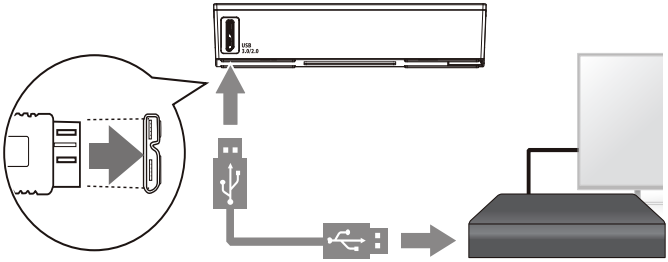
●レコーダーの操作については、各メーカーにお問い合わせください。
（弊社ではサポートをおこなっておりません。）
● SeeQVault（シーキューボルト）対応レコーダーについて
- ●本製品へ直接録画はできません。レコーダーに直接録画した番組を本製品にダビングして使用します。
- ●一度登録した後に他の SeeQVault 対応レコーダーにつなぎ、初期化 / 登録を促される場合は、初期化 / 登録が必要です。初期化 / 登録をおこなうと、保存されているデータは削除されます。初期化 / 登録を促されない場合は、そのままご利用いただけます。

●登録 / 録画した番組について
- ●登録は、はじめてつなぐ時のみで、次回からは必要ありません。
- ●本製品をレコーダーに登録すると、本製品内のデータはすべて消去されます。すでに保存したデータがある場合は、事前に他のメディア（HDD や DVD など）にバックアップしてください。
- ● SeeQVault 非対応の AV 機器につないでも再生はできません。
- ●再生可能な SeeQVault 対応 AV 機器や制限事項については、各メーカーにご確認ください。
- ●パソコンとレコーダーで本製品を併用することはできません。レコーダーで登録、初期化すると、そのレコーダー専用のフォーマットになります。
- ●故障などの理由でレコーダーや本製品を交換した場合は、交換前に録画した番組を視聴することはできません。

●使用について
- ●レコーダーを視聴していなくても、番組表の更新でレコーダーの電源がオンになることがあります。この場合、本製品の電源もオンになります。
- ●本製品を取り外す場合は、レコーダーの取り外し手順にしたがってください。ダビング中などに誤って本製品の取り外すと、データの破損や、本製品の故障の原因となりますのでご注意ください。

本製品をつなぐ機器の取扱説明書を参照してください

①もくじを開き、USB HDD 接続関連のページを探す
※以下の項目例を参考にしてください。
項目例：【USB ハードディスクの接続をする】
【USB ハードディスクをつかう】
【USB ケーブルでつなぐ】
② USB HDD 接続関連のページで、本製品をつなぐ USB 端子を確認する
※つなぐ USB 端子が決められている場合があります。



オプション AC アダプターのご案内

USB バス電源供給性能により、一部の機種においてオプションの AC アダプター「USB-ACADP5」が必要な場合があります。
詳しくは、弊社 Web ページ (http://www.iodata.jp/) をご覧ください。

本製品をはじめてつないだ場合、レコーダーに本製品を登録します。(次ページ参照)

レコーダーに登録する

レコーダーのリモコンを操作して、本製品を登録します。
本製品をつないだレコーダー取扱説明書をご準備ください。

1 レコーダー取扱説明書の「もくじ」を開き、
SeeQVault 用 USB HDD 登録関連のページを探す

以下の項目例を参考にしてください

- SeeQVault 対応 USB-HDD をつかう
- USB ハードディスクについて

2 上記操作方法のページを開き、手順を確認する

レコーダー取扱説明書の手順にしたがって、登録します。

SeeQVault を利用する場合

「SeeQVault を利用しますか?」などの選択肢が表示された場合は、「はい」を選択してください。
例）レグザブルーレイの場合
[引越・バックアップ用として他機でも使用する] を選ぶ

これで登録はできました。
次に本製品に録画番組をダビングします。【録画番組をダビングする】（15 ページ）をご覧ください。

【参考】以下の機種は、本書で登録方法を説明しています

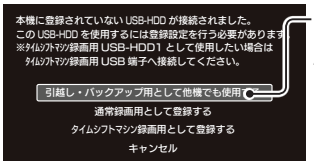
※非対応の機種もあります。【動作環境】（24 ページ）をご確認ください。
※本書の手順は一例です。モデルにより異なる場合がありますので、必ずレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

【東芝 レグザサーバー DBR-M3007 に登録する】（8 ページ）
【シャープ アクオスブルーレイ BD-NS500 に登録する】（10 ページ）
【パナソニック ディーガ DMR-BRW500 に登録する】（11 ページ）
【FUNAI レコーダー FBR-HT1000 に登録する】（13 ページ）

東芝 レグザサーバー DBR-M3007 に登録する

1 レグザサーバーの電源をオンにする

2



[引越し・バックアップ用として他機でも使用する] を選び、決定 を押す

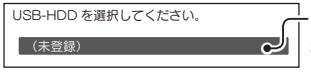
3



そのまま 決定 を押す

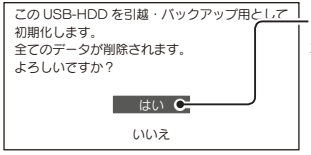
※ [USB-HDD 初期化] が選択されています。

4



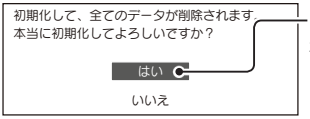
[未登録] を選び、決定 を押す

5



[はい] を選び、決定 を押す

6

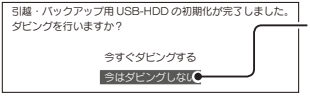


[はい] を選び、決定 を押す

▼

初期化がはじまります。

7



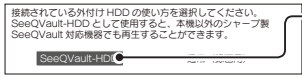
[今はダビングしない] を選び、決定 を押す

これで登録はできました。
次に本製品に録画番組をダビングします。【録画番組をダビングする】（15 ページ）をご覧ください。

シャープ アクオスブルーレイ BD-NS500 に登録する

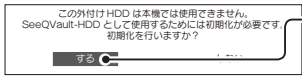
1 アクオスブルーレイの電源をオンにする

2



[SeeQVault-HDD] を選び、決定を押す

3



［する］を選び、決定を押す

▼

初期化がはじまります。

4



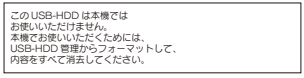
そのまま決定を押す

これで登録はできました。
次に本製品に録画番組をダビングします。【録画番組をダビングする】（15 ページ）をご覧ください。

パナソニック ディーガ DMR-BRW500 に登録する

1 ディーガの電源をオンにする

2



そのまま 決定 を押す

3 リモコンの スタート を押す

4 リモコンの ◀（左）を押し、［初期設定］を選び、

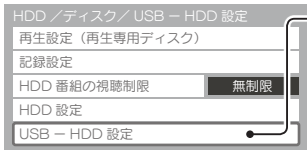
決定 を押す

5



［HDD/ ディスク /USB-HDD 設定 ］を選び、決定 を押す

6



［USB-HDD 設定 ］を選び、決定 を押す

7 

[USB-HDD 管理] を選び、決定を押す

8 [SeeQVault 対応フォーマット] を選び、決定を押す

9 ［はい］ を選び、決定を押す

10 ［実行］ を選び、決定を押す

▼

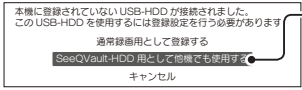
初期化がはじまります。

これで登録はできました。
次に本製品に録画番組をダビングします。【録画番組をダビングする】（15 ページ）をご覧ください。

FUNAI レコーダー FBR-HT1000 に登録する

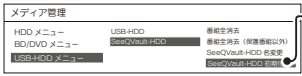
1 レコーダーの電源をオンにする

2



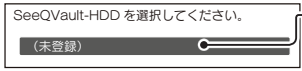
[SeeQVault-HDD 用として他機でも使用する] を選び、決定を押す

3



[SeeQVault-HDD 初期化] を選び、決定を押す

4



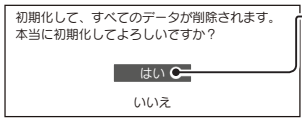
[未登録] を選び、決定を押す

5



[はい] を選び、決定を押す

6

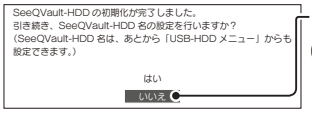


[はい] を選び、決定を押す

▼

初期化がはじまります。

7



これで登録はできました。
次に本製品に録画番組をダビングします。【録画番組をダビングする】（15 ページ）をご覧ください。

録画番組をダビングする

本製品を持ち出す前に、録画番組を本製品にダビングします。
本製品をつないだレコーダーの取扱説明書をご準備ください。

1 レコーダー取扱説明書の「もくじ」を開き、
ダビング関連のページを探す

以下の項目例を参考にしてください

●ダビングする
●タイトル（番組）のダビングをする
●番組をダビングする

2 上記操作方法のページを開き、手順を確認する
レコーダー取扱説明書の手順にしたがって、登録します。

これで録画番組のダビングはできました。
ダビング完了後、本製品をレコーダーから取り外します。
取り外し方法は、レコーダー取扱説明書をご覧ください。

【参考】以下の機種は、本書で手順を説明しています

※非対応の機種もあります。【動作環境】（24 ページ）をご確認ください。
※本書の手順は一例です。モデルにより異なる場合がありますので、
必ずレコーダーの取扱説明書をご確認ください。
【東芝 レグザサーバー DBR-M3007 からダビングする】（16 ページ）
【シャープ アクオスブルーレイ BD-NS500 からダビングする】（17 ページ）
【パナソニック ディーガ DMR-BRW500 からダビングする】（18 ページ）
【FUNAI レコーダー FBR-HT1000 からダビングする】（20 ページ）

東芝 レグザサーバー DBR-M3007 からダビングする

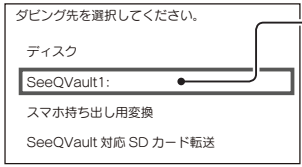
1 録画リストを表示させる

2 ダビングする録画番組を選び、サブメニューを押す

3 表示されたサブメニューから［ダビング］を選び、決定を押す

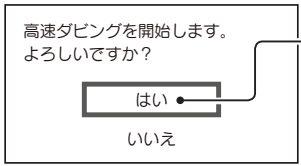
4 ダビングメニューから［かんたんダビング］を選び、決定を押す

5



［SeeQVault1］(本製品)を選び、決定を押す

6



［はい］を選び、決定を押す

これで録画番組のダビングはできました。
ダビング完了後、本製品をレコーダーから取り外します。
取り外し方法は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

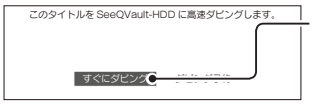
シャープ アクオスブルーレイ BD-NS500 からダビングする

1 録画リストを表示させる

2 ダビングする録画番組を選び、ツール（ツール）を押す

3 表示されたメニューから
［ダビング］→［外付け HDD］を選び、決定を押す

4



［すぐにダビング］
を選び、決定を押す

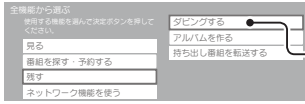
これで録画番組のダビングはできました。
ダビング完了後、本製品をレコーダーから取り外します。
取り外し方法は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

パナソニック ディーガ DMR-BRW500 からダビングする

1 リモコンの スタート を押す

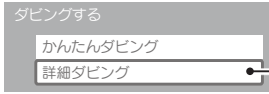
2 リモコンの ◀（左）を押し、[全機能から選ぶ] を選び、決定を押す

3



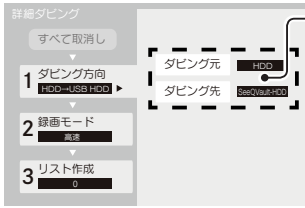
[残す]→[ダビングする] を選び、決定を押す

4



[詳細ダビング] を選び、決定を押す

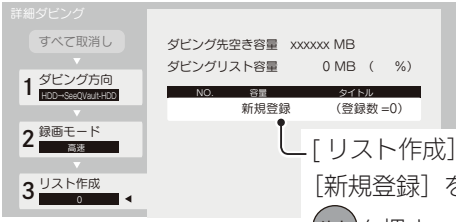
5



[ダビング方向] で、以下を選択する
ダビング元：HDD
ダビング先：SeeQVault-HDD

※上記は、ダビング元がレコーダー内蔵の HDD の場合です。
※画面左側は、▲・▼ボタンで項目移動ができます。▶を押すと画面右側に移動します。

6



［リスト作成］で
［新規登録］を選び、
決定を押す

7 番組一覧が表示されたら、ダビングする番組を選び、
決定を押す

※番組は複数選択できます。

8



［ダビング開始］を選び、
決定を押す

9 注記の内容を確認し、決定を押す

10 ダビング方法を選び、決定を押す

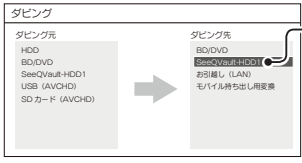
これで録画番組のダビングはできました。
ダビング完了後、本製品をレコーダーから取り外します。
取り外し方法は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

FUNAI レコーダー FBR-HT1000 からダビングする

1 録画リストを表示させる

2 ダビングする録画番組を選び、サブメニューを押す

3 表示されたサブメニューから［ダビング］を選び、決定を押す

4 

ダビング先で［SeeQVault-HDD1］※を選び、決定を押す

※登録時に名前を変更している場合は、変更した名前で表示されます。

5 録画リストが表示されるので、ダビングする番組を選び、［決定］を選び、決定を押す

※番組は複数選択できます。

6 確認画面が表示されたら、［決定］を選び、決定を押す

7 ［ダビング開始］を選び、決定を押す

8 「ダビング準備中です。」と表示されたら、決定を押す

これで録画番組のダビングはできました。
ダビング完了後、本製品をレコーダーから取り外します。
取り外し方法は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

専用アプリで再生する

アプリをダウンロードする

スマホで録画番組を再生するために、専用プレイヤーアプリが必要です。Google Play（Play ストア）から、以下の 2 種類のアプリを検索してダウロードしてください。

必ず2つともダウンロードしてください

どちらか片方だけだと正常に録画番組が再生できません。

※以下のアプリは、2020 年 6 月末まで無料配布予定です。
また、「SeeQVault プレーヤー」で使われている SeeQVault 暗号を復号するために必要な NSM デバイス鍵の更新は、2022 年 6 月末までサポート予定です。詳しくは、ピクセラ社の Web ページをご確認ください。

SeeQVault プレーヤー

ダウンロード

SeeQVault SSD アクセスサービス

ダウンロード

録画番組をスマホで再生する

1 本製品とスマホをつなぐ

※接続した際に、「初期化しますか?」とメッセージが表示される場合がありますが、初期化はおこなわないでください。



※番組を視聴していない時はケーブルをスマホから取り外してください。本製品は視聴をしていない時でもスマホのバッテリーを消費します。

2 アプリ [SeeQVault プレーヤー] をタップ

※初回起動時は【使用許諾】が表示されます。同意いただける場合のみ使用できます。また、「製品アクティベーションを開始します」では、指示にしたがい［OK］をタップしてください。

3 ダビングした番組の一覧が表示されたら、タップして再生する



アプリの使用方法については…

アプリの使用方法については、アプリのヘルプをご確認ください。
アプリに関しては、ピクセラ社にお問い合わせください。
【プレーヤーアプリに関するお問い合わせ】(30 ページ) 参照

仕様

動作環境

※ 2017 年 12 月現在

USB 3.0/2.0 を装備した以下の機器に対応しています。

オプション AC アダプターのご案内

USB バス電源供給性能により、一部の機種においてオプションの AC アダプター「USB-ACADP5」が必要な場合があります。
詳しくは、弊社 Web ページ (http://www.iodata.jp/) をご覧ください。

▼動作確認済み機種

レコーダー (SeeQVault 対応レコーダー)
- 東芝 レグザブルーレイ / レグザサーバー
- シャープ アクオスブルーレイ
- パナソニック ディーガ
- FUNAI　ブルーレイ

▼対応スマートフォン

Android 搭載のスマートフォン
- Samsung Galaxy S8/S8+
- Sony Xperia XZ Premium
- シャープ AQUOS R
- LG V20 PRO
- ASUS ZenFONE 3 Max
- HUAWEI P10
- Trinity NuAns NEO

対応スマートフォン / タブレットについて

対応機種については、弊社 Web ページでご確認ください。
http://www.iodata.jp/product/hdd/rokuga/sdp-sq30h/spec.htm

▼対応パソコン※1※2

本製品はパソコンのデータストレージとしてはご使用いただけません。弊社製ハードディスクフォーマッタでフォーマットする場合のみご使用いただけます。

Windows パソコン	Windows 10

※1 USB 3.0 でご使用いただくには、USB ポート（OS、ドライバーを含む）が USB 3.0 に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 2.0 として動作します。

※2 USB 3.0 の動作は、弊社製 USB 3.0 インターフェイスで確認しています。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。

パソコンで使う場合

画面で見るマニュアルもご確認ください。
画面で見るマニュアルは、弊社 Web ページに掲載されています。
以下の URL アクセスし、箱や本製品に記載の型番で検索してください。
http://www.iodata.jp/lib/

ハードウェア仕様

インターフェイス	USB 3.0、USB 2.0
出荷時フォーマット	NTFS
電源	USB バスパワー
使用温度範囲	5 ～ 35℃（接続機器の動作範囲であること）
使用湿度範囲	20 ～ 80%（結露なきこと、接続機器の動作範囲であること）

※ 詳しい内容は、弊社 Web ページをご覧ください。商品型番等で検索してください。
http://www.iodata.jp/

パソコンでのフォーマット後の容量について

フォーマット後に OS に表示される容量は、計算方法が異なるために若干減少しているように見えます。

●本製品の容量
1G バイト = 1,000M バイト、1M バイト = 1,000,000 バイトで計算
● OS 上で表示される容量
1G バイト =1,024M バイト、1M バイト =1,048,576 バイトで計算
例）1T バイトのハードディスクの場合
　仕様容量：約1T バイト
　OS 上の表示：約 931G バイト

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告・注意表示

⚠ **警告**	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ **注意**	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

	禁止		指示を守る

⚠ 警告

本製品を修理・改造・分解しない



火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品には触れない



感電の原因となります。

⚠ 警告

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない



本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない



水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に置かないでください。
- 掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
- 万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

AC アダプターは、指定品のもの以外を使用しない



コードから発煙したり火災の原因になります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などしない



火災、感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない



火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない



コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

使用上のご注意

● 本製品を接続時、他の USB 機器を使う場合に以下にご注意ください。
- ●本製品の転送速度が遅くなることがあります。
- ●本製品を USB ハブに接続しても使えないことがあります。その場合は、機器の USB ポートに直接、つないでください。

● 起動用ドライブとしてはご使用いただけません。

● 本製品にソフトウェアをインストールしないでください。
OS 起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。

● ご利用のパソコンにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。

● お手入れ方法
本製品についた汚れなどを落とす場合は、ケーブルを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
- ・汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。

● 譲渡・廃棄の際のご注意
- ●データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。
情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
- ●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

アフターサービス

お問い合わせについて

プレーヤーアプリに関するお問い合わせ

株式会社ピクセラ

▼サポート情報
http://www.pixela.co.jp/support/

▼電話　受付時間：10 時から 18 時（年末年始、祝日除く）
固定電話から ▶ 0210-727-231
携帯電話から ▶ 0570-064-246

▼FAX
06-6633-2992

▼お問い合わせフォーム
https://www1.pixela.co.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=support

重要

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（http://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

本体に関するお問い合わせ

弊社サポートページにて、**以下をご確認ください**

▼**弊社サポートページ**
http://www.iodata.jp/support/

1 「Q&A よくあるご質問」を参照

2 最新のソフトウェアをダウンロード



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

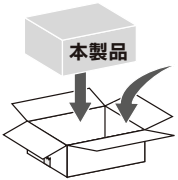
電話 ▶ 050-3116-3015
受付時間 9:00～17:00 月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）
インターネット ▶ http://www.iodata.jp/support/

※ご用意いただく情報▷製品情報（製品名、シリアル番号など）、PCや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

保証期間
1年間

以下を**梱包**し、**修理センター**へ**お送りください**



レシート、納品書
など**購入日**を示すもの
または**保証書**

＋

メモ
・名前 ・住所 ・TEL/FAX番号
・メールアドレス ・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。

http://www.iodata.jp/support/after/

【ユーザー登録はこちら】･･･https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号（S/N）は本製品に印字されている 12 桁の英数字です。（例：ABC1234567ZX）

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より **1 年間**無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) お客様が録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

2017.12.1

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器

ホームページ　http://www.iodata.jp/